

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会(全体会)

区 分	内 容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	地域活動団体や企業と連携を図り、多様な資源や新たな視点によるアイデアを活用して、より効果的な協働による事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げるさまざまな地域課題の解決につながる取り組みを、1事業につき50万円以内(過去に本事業で実施したことのある場合は30万円以内)で募集して事業委託する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	本事業は4団体から応募があり、令和6年5月8日(水)に書類選考による一次審査、令和6年5月16日(木)にプレゼンテーションによる二次審査を経て、4団体を採択した。各団体における事業実績は以下のとおり。 ◆みんなの居場所をみんなでつくる【ボランティアサークルふおうはあと】 「縦横斜めの豊かな関係を築き、地域みんなが顔なじみ・地域の人みんなで子育てしよう」を合言葉に、一人一人が尊重しあい、誰にとっても居心地の良い、ひらかれた地域をめざすために、年間を通してDIYやクッキング、マジック、アロマ教室など様々な活動を実施した。 ◆描け！広がれ！選ばれる白南未来図【白南地区コミ協連絡会】 中学校区を一にする地区住民自らが、地区の最重要課題である「こども・子育て」に関する課題解決策を話し合い、「新しい学校」と「新しい地域振興の拠点施設」の案として「白南未来図」を描いた。内容は紙媒体とホームページを用いて発信・伝達した。 ◆続・温故知新～もっと愛するまち庄瀬【庄瀬地域コミュニティ協議会】 令和5年度のまちづくり活動サポート事業で作成した「温故知新～愛するまち庄瀬」(商工業をテーマとした冊子)の続編として、地域や学校の行事、サークル活動などにスポットを当てたエピソード集「続・温故知新～もっと愛するまち庄瀬」を作成し、活発だった地域の様子を後世に伝承することを目的に実施した。取材や編集作業を通じて、多世代交流の機会が生まれた。 ◆あじかた食の歴史ロマン隊【味方地区コミュニティ協議会】 小、中学生が地元の食材や食文化の魅力について理解を深めることを目的に、野菜の栽培や収穫、新メニューの考案など体験的学習を実施した。小学校では小松菜を使った料理のレシピを考案、リーフレットを作成したほか、地元の業者さんと共同開発した「れんこんのきんぴらんご(笹団子の中身がれんこんのきんぴら)」作りに挑戦した。中学生は地域の食材を作る人材を取材を実施した。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	○ 採択されたそれぞれの団体が、地域の魅力を最大限に発信し、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していた。 ○ 令和6年度は応募が4団体と減少したことが課題であった。令和7年度に向けて、過去の応募団体にアンケートを行ったほか、自治協議会の各部会で意見交換を行い、応募団体が増えるよう募集要項を改正した。
備考	